2月のロータリーレート 1ドル 104円

２０２１年６月１４日発行
第 ２３巻 ２１号

Rotary Club of Komatsu City News

ROTARY Club of KOMATSU CITY
国際ロータリー第2610地区
1998年3月25日創立

ロータリーは機会の扉を開く
2020-2021年度RIテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」

例会場：〒９２３－０８６８ 石川県小松市日の出町４－９３
ホテルビナリオKOMATSUセントレ２階 毎週月曜日 19：00点鐘
事務所：同上 ﾎﾃﾙﾋﾞﾅﾘｵKOMATSUｾﾝﾄﾚ１Ｆ TEL ０７６１－２０－２６１０ FAX ２０－２６００
E-Mail：rotarian@sirius.ocn.ne.jp Home-Page：http//www3.ocn.ne.jp/~rotarykc/

2021年2月22日(月) 小松シティRC第963回例会 当クラブ出席率 55.88%（補正出席率58.82%）
ゲスト卓話「発達障害に関して」 株式会社 ＭＯＹＵ 代表取締役社長 小坂 治美 様

【会長挨拶】

全豪オープン 大坂ナオミ優勝！４回目のグランドスラムを達成した彼女、ゲームをダイジェストで見て思ったのは、以前と比較して安定したメンタルが強さの秘訣か？中村豊フィジカルトレーナー、茂木奈津子ケアトレーナーの日本人スタッフがチームとしての絆を深めたそう。また試合後のコメントがクレバーでチャーミング、いさどくない。日本の血が入ってるなとつくづく思いました。根室のじいちゃん大喜び＆根室市役所もお祝いの懸垂幕を設置、大坂選手が将来ウィンブルドン選手権で優勝したり、四大大会全てで優勝する「グランドスラム」を達成したりすると見越して、その時に掲げる横断幕のデザインを既に準備しているということです。

革新的なと言われるｍＲＮＡワクチンの国内接種が始まりましたが、そのワクチンについてのバイオ技術研究者のブログ記事。医学の進歩には諦めない科学者の努力とそれを支える経済両者が必要だと良く解ります。ｍＲＮＡワクチンを「革新的」と呼ぶのにはやはり違和感。３０年にも渡る地道な努力の積み重ねで、数年前には実用化レベルまで行っていたけど既存品と比較して優位性がなかっただけです。それでもこの技術はいつか役に立つ時があると信じてました。そして「いつか」が来てすぐ実用化しました。「地道な努力」「諦めない」「役に立つ場面が来るという信念」研究者の仕事としては、こういったものを称えるべきです。３０年以上よく頑張ったと言ってあげるべきです。そして、企業としての姿勢。既存技術と比較して優位性がないとされても、新興感染症では有効な対抗策になると分かっていた。それでも経済的合理性から技術を手放す企業がある中で、社会的使命のために技術を保持し続けた。その時がいつ来るか？来ないかもしれない。それでも人類のために。金の問題ではない。製薬企業は人の命を救うためにあるという信念ですぐに金にならない技術を維持してくれました。革新技術ではなく、３０年以上の歴史で改良を加えて数年前に完成したけど、葬られそうになった技術です。それを保持してくれました。称えるポイントが違います。十分な研究資金がない状態でこの研究を続けてきたカリコさんは、これらを解決するのに実に１５年近くかけ、ＴＬＲ活性化と分解を回避するのに有用な修飾塩基を見出す。そこから上手くいくと思うでしょ？しかし彼女は教授職をクビになります。製薬ベンチャービオンテックに就職。その後、細胞内にＲＮＡを入れる方法も確立。今度こそ上手くいくと思うでしょ？ビオンテックはガンかレア疾患でＲＮＡが使えないかと目論んでいたが、これらの病気はダメでした。当初の目論見の、感染症のワクチンはどうか？狂犬病やインフルでやってみたら、十分及第点。でもこれらの病原体のワクチンなら既にある。別に今までのワクチンで良いのでは？ＲＮＡワクチンいらないのでは？っとなり、大手製薬はほとんど撤退、ビオンテックとモデルナが残った。しかし大手のファイザーはビオンテックを切らずに感染症のワクチンの開発を一緒に続けました。資金と技術が切れずに残りました。新型コロナパンデミックが起こって、結果的にこの判断が正しかったと証明された。一方大手がついてないモデルナには、アメリカ政府が後ろ盾になりました。コロナ対策を何もしなかった、失敗したと酷評されているトランプ大統領ですが、モデルナへの資金提供を軸にした「オペレーション・ワープ・スピード」にゴーサインを出して、１兆円もを投入し予算官民軍一体となった巨大

プロジェクトを成功させた。「新しい革新技術でｍＲＮＡワクチンが開発された」ってことになりますが、ちょっと違います。３０年という今では信じられないような長期間かけてモノになった技術、カネにならないと見捨てられかけたが大手製薬１社とベンチャー２社だけは捨てなかった技術、政治素人と言われる実業家大統領の思い切った決断と唯一無二の超大国の底力。ぽっと出の革新技術じゃなく、すごい長期間かけた挙げ句すてられかけた技術を巨大企業の資金力やアメリカの底力が、サルベージしたということです。医療関係者から見たらいきなり出てきた新技術でしょうけど、４半世紀以上前からバイオ技術研究のサイドから見てきた者としては、全く違うものとしてｍＲＮＡワクチンを評価しています。ｍＲＮＡワクチンについて語る「プロフェッショナル」が医師だけなので、違った側面から見えるもう一つの事実を知ってほしい。

【幹事報告】

・配布資料　週報１０、１３～１５、１９号

【活動報告】

・2/22（土）地区国際奉仕委員長会議（13：30～ZOOM）大杉

「小松シティＲＣ ニコニコボックス　会員卓話御礼・閉会点鐘御礼・その他」

・濱本哲成「小坂治美様、本日は遠路はるばる金沢から卓話に来て頂き有難うございます。八田さんもイジッて頂き有難うございます。発達障害はＮＨＫ等でここ近年確かによく取り上げられていますね。それだけ良く解らない分野なのと多くの人が関わってる事なんですね。今日は大分良く解りました。酒飲み大好き！」

・松本賢一「小坂様、お忙しい中卓話頂き有難うございました。本日、芦城中学校の学校評議委員会に行って来ました。校内には無線ＬＡＮでネットワークが構築されており、１人に１台タブレットが当てがわれておりました。鈴木工レクトのご子息、真面目に卓球しておりました。」

・山崎秀雄「小坂治美様、ようこそ小松シティＲＣの例会卓話をして頂き有難うございます。今後のご活躍をお祈り致します。」

・奥山悦朗「小坂様、卓話有難うございました。石川県（金沢）でやっと感染対策が始まりました。ネットでは県民の不安と不満で、No.47の方はボロクソに言われておりましたが。第２波の始まりに新宿の夜の町が拡大させている事がピンポイントで分かっているのに、小池知事と西村大臣が何もせず２波を全国に拡大させ、さらに数を減らせないまま、やはり何も対策せず、ひどい3波となりました。その時の状況と非常に石川が似ているので危惧しておりますが、クラスターを出した店名は、公表しないし対策は遅いし、感染率は全国でワースト４だそうです。福井や富山が羨ましい。」

・八田知子「はるみちゃん、今日は卓話有難う。とても勉強になりました。これからも一緒に頑張ろうね。３/１７の13：00から一問一答の質問に立ちます。今回はほぼＮＯ原でやろうかと頑張ります。」

・宮本賀章「株式会社ＭＯＹＵ代表取締役社長 小坂治美様、大変興味深い卓話を有難うございました。仕事でも私生活でも大変役に立つ内容で大変勉強になりました。本日閉会点鐘させて頂きます。宜しくお願い致します。」

・杉本隆「株式会社ＭＯＹＵ代表取締役社長 小坂治美様、本日はお忙しい中卓話有難うございました。発達障害に関して大変勉強になりました。」

（順不同・敬称略）

【編集】会報広報委員　宮本賀章